

道しるべ

TAKE FREE
VOL.
113

AISEIKAI
HEALTHCARE
CORPORATION

quarterly magazine
MICHISHIRUBE



特集 新年のご挨拶

社会医療法人愛生会

謹賀新年

社会医療法人愛生会 理事長
山口 洋介



新年あけまして おめでとうございます

本年も皆さんと一緒にこの地域の医療を一層良くするように、前向きに進んでいきたいと思っています。さて、この原稿を書いている今は、10月末、衆議院議員選挙で与党が大敗しました。これからどうなっていくのでしょうか？今回の選挙は、裏金問題と国民の所得アップが争点となりました。与党が負けて、多少の不安の中、クリンな政治と賃金アップがどうなされていくのか、少し期待をしています。一時的に現金支給するだけでは根本的な解決にはなりません。即効性と持続性を兼ねた政策がおこなわれることを望んでいます。

日本の経済は30年もの間、停滞し続けてきました。今回のことで急に上昇していくことは難しいと思いますが、停滞した経済を立て直すには労働力の確保と、生産性の向上が必須となります。

労働力の確保と生産性の向上

団塊の世代の年間の出生数は260万人、団塊ジュニアの世代は200万人、2024年に20歳になった人は110万人、そして2025年は70万人程度になるそうです。労働力は大幅に減っているし、これからも減り続けていくでしょう。

また、労働者を守るための働き方改革も、見かけ上の労働力の減少につながっています。ですから、これから先のことも見据えて、生産性を大幅に上げていくことが必要です。そうできなければ、日本の経済はますます沈滞化していきます。新しい政府がこの問題をどのように取り組んでいくのかとても気になります。

医療・介護は人手不足

どの社会も人手不足ですが、医療・介護の人手不足は深刻です。それは、人数が決められた仕事が多いからです。医療制度では、数を基準としたものが多く、他の職種に比べて、人数が

減らせないからです。人手不足、生産性の向上のため、医療ロボットが開発されても、夜勤がロボットだけでいいようにはならないし、「今日の診察はロボットがおこないます」ということにはならないと思います。制度の見直しも含めて、医療の生産性は最も困難な問題であると感じています。

数々の問題が沸き起こってくると思われませんが、医療・介護は人と人のつながりであることは変わらないと思います。医療・介護が、心のこもった温かいものであり続けるために当法人はこれからも邁進していきます。

総合上飯田第一病院院長
良田 洋昇



2025年 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。今年は人口の約30%が65歳以上の高齢者となり、団塊の世代の方がすべて75歳以上の後期高齢者となります。以前から2025年問題として指摘されてきましたが、医療・介護の需要が増加する一方で労働人口が減少して医療従事者の不足が、ますます深刻化していきます。いよいよ本番、待たなしの状態です。また物価の高騰にもかかわらず、診療報酬は据え置きで、病院にはさらなる経営改善が要求されます。医療体制が崩壊して病院にかかれぬ人たちがバタバタと道端に倒れている。こんなSF映画のような光景が決して荒唐無稽な戯言と言えなくなる日が来ないとも限りません。私たち医療人は今こそ一致団結してこの難局に向かっていく必要があります。2025年が皆さま方にとって良い年でありますように。

上飯田
リハビリテーション病院院長
河合 達巳



温もりにあふれた医療を

新年あけましておめでとうございます。21世紀も4分の1にさしかかりましたが、この間に私たちの生活はめまぐるしく変化いたしました。スマートフォンが普及していつでもどこでも最新の情報が入手できるようになり、紙幣は新しくなったけれど支払いにはキャッシュレスが当たり前になっています。

照明はLEDになって、消費電力は少なくなり、自動車も電動化と自動運転機能がどんどん進んでいます。大金を払いさえすれば宇宙にだって旅行できるようになりました。昭和の時代にアニメで描かれていた世界が次々現実のものとなってきている気がします。

リハビリテーションの現場では療法士によるマンツーマンの訓練が依然として大きな比重を占めています。人同士が触れ合いながら時間をかけて作業する際の温もりを機器に求めることは難しいでしょう。本年も温もりにあふれた医療を実践して参りたいと存じます。

どうか良い1年でありますように。

上飯田クリニック院長
三浦 直人



令和7年 新しい年

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆さま、令和も7年目を迎えました。昨年は、元日早々に登半島地震が発生、また気候変動による猛暑日、記録的大雨など自然災害が多い年になりました。コロナウイルス感染症については重症化する症例は少なく安堵しています。

自然災害、感染症の流行は日常生活を変えてしまう可能性もあり、今後も気をつけたいといけません。防災対策は当クリニックにて避難訓練を年2回、また感染症対策もコロナ流行以降も継続しています。院長となり6年目に入っていますが、昨年同様、クリニックのスタッフ一同、安心安全に透析医療を提供できるよう、また皆さまの健康を祈念して新年の挨拶いたします。どうぞよろしくお願いたします。

INFORMATION

総合上飯田第一病院

「第1回 医療・介護スタッフ研修会」をハイブリット形式で開催しました!!

2024年9月30日に3部形式で第1部は「感染対策の基礎」と「新興感染症に対する訓練」を、実技を交えて研修をおこないました。第2部は「新興感染症の発生時の対応・施設内でのアウトブレイク・受診方法」の講習をおこないました。第1部と第2部は当院の感染管理認定看護師 清水 感染対策室長が講師を務めました。

第3部は「はち丸ネットワーク」について名古屋市はち丸在宅支援センターの方が講師として講習をおこないました。

今回は現地開催とZOOMを利用したWeb参加の併用により、多くの方に参加していただくことが出来ました。

今後も定期的に当院発信で研修会をおこない連携施設と交流を深め、協力し合い、地域に密着した医療を提供していきたいと考えています。



総合上飯田第一病院

総合上飯田第一病院「地域医療連携フォーラム」を開催いたしました

2024年11月16日(土)に名古屋市北区医師会との共催で「地域医療連携フォーラム」を当院南館8階大会議室で開催しました。座長を医師会副会長の渡邊 一生先生(わたなべ内科クリニック院長)が務め、特別公演として、公立陶生病院 内分泌・代謝内科主任部長の吉岡修子先生より「明日からはじめる骨粗鬆症治療とその薬剤選択」を講演いただきました。

また、当院の骨粗鬆症マネージャーの吉本看護師長が「二次性骨折予防のための当院の取り組みについて」を講演しました。Web参加も併用して、より多くの連携医療機関の方に参加していただきました。

講演終了後の交流会には講演会に会場いただいた先生方、講師の吉岡先生、当院各診療科の医師が参加し、良い意見交換の場となりました。

今後も地域の医療機関の先生方と共に皆さまへ医療を提供してまいります。



地域で支える！かかりつけのお医者さん

病診連携

山崎眼科

眼科



開業の経緯

当院は1973年(昭和48年)3月に、私(院長、山崎俊)の父である山崎幾雄(現名誉院長)が春日井市中新町で開業しました。春日井市内で一番古い眼科医院です。

診療の傾向

結膜炎、白内障、緑内障、ドライアイ、小児眼科など、眼科疾患全般に対して検査、診療、治療をおこなっております。2003年に私が就業してから日帰り白内障手術もおこなっております。その他にコンタクトレンズやメガネの処方、糖尿病眼科検診、各種眼科レーザー治療にも対応しております。当院で対処しきれない重症患者さんは総合上飯田第一病院の眼科での確に検査、治療を施行していただいております。

古川真理子眼科部長をはじめとする皆さまには最高の治療を進めてもらえることに、いつも深く感謝しております。誠にありがとうございます。

また、当院はアジア、アフリカでの眼科ボランティア活動に関わっております。医療が発達していない国で眼科技

タンザニアで眼科医療評価



術を指導することは、私たち日本人が置かれている恵まれた立場を理解し、医療の基本理念を再認識する機会でもあります。これらの経験を日常診療に還元することにも心がけております。

余談ですが、総合上飯田第一病院の副院長で乳腺外科の窪田智行先生は大学の同級生です。時々一緒に食事などをして情報や意見の交換をしています。

皆さまへのメッセージ

開業して50年以上が経過し、数世代に亘って通院していただく患者さんご家族もおられます。この地域の人々の目の健康を守るため、総合上飯田第一病院と協力して、スタッフ一同、眼科医療に取り組み続けたいと考えます。よろしくお願いたします。

院長 山崎 俊 やまざき たかし

休診日:水曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日
〒486-0956 春日井市中新町1-10-8
TEL:0568-32-5201 <http://www.yamasaki-ganka.com/>

診療時間		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前の部 9:00-12:00 受付開始 8:30 / 終了 11:30	院長	○	○	○	○	○	○	○
	副院長	○	○	○	○	○	○	○
午後の部 17:00-19:00 受付開始 16:30 / 終了 18:30	院長	○	○	○	○	○	○	○
	副院長	○	○	○	○	○	○	○



「逸品」で、日々の食卓をもっとおいしく、もっと健康に。

栄養科監修

ゆるっと
気楽に
もう一品!



頑張らない 逸品 レシピ

毎日を一生懸命
頑張っているあなたへ、
頑張らないレシピの
ご提案です。

今回の逸品は…

春菊入り豆腐ハンバーグ

材料(5人前)

- ・春菊1袋..... 200g
- ・鶏ひき肉..... 400g
- ・絹ごし豆腐... 200g
- ・おから..... 大さじ3
- ・豆乳..... 大さじ3
- ・塩こしょう..... 少々
- ・サラダ油.... 大さじ2
- ・卵..... 1個

1人前約
216
Kcal

作り方

- 1 豆腐を水切りする。
- 2 春菊をさっと茹で、1cm幅に刻む。
- 3 ボウルにおからと豆乳を入れてふやかしておく。
- 4 鶏ひき肉と豆腐、春菊、卵をボウルに入れて混ぜ合わせ、塩こしょうで味を調える。
- 5 好みのサイズで成形し、サラダ油をひいたフライパンで焼き色がつくまで焼く。

今回の
食材

春菊

牛乳をしのぐほどのカルシウムを含んでおり、緑黄色野菜のためビタミンAも豊富です。えぐみの成分であるシュウ酸が少ないため食べやすい野菜です。



春菊を使用することで

カルシウムや彩りをプラスしよう!



もう逸品!!

紅白なます

材料(1人前)

- ・大根..... 40g
- ・にんじん..... 15g
- ・塩..... ひとつまみ
- ・酢..... 大さじ1
- ・砂糖..... 大さじ1/2

1人前約
36
Kcal

作り方

- 1 大根とにんじんは皮をむき千切りにし、耐熱容器に入れ塩を振って混ぜ合わせておく
- 2 別の耐熱容器にAを入れ、600Wのレンジで1分加熱する
- 3 ①に軽くラップをして600Wのレンジで2分加熱し、②を入れて混ぜ合わせる
- 4 冷めたら水気をきり、器に盛りつけて完成



酢はレンジで加熱することで
酸味がまろやかになります

医療・福祉制度のお役立ち情報

暮らしの豆しき

身寄りがいなくても安心して暮らしていくために
～成年後見制度のご案内～

成年後見制度とは

判断能力に不安がある方、不十分な方が、財産侵害を受けたり人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように以下の2つの仕組みで保護・支援する仕組みです。

1

任意 後見制度

判断能力の問題ない人が、将来判断能力が不十分になった場合にそなえて『誰に何を支援してもらうのか』をあらかじめ決定し、判断能力が不十分になったときに家庭裁判所で任意後見監督人を選任し、依頼した後見事務をしてもらうという制度です。

2

法定 後見制度

判断能力が不十分になった後に家庭裁判所に申立て後見人等の選任をする制度です。申立は本人、配偶者、四親等以内の親族等、または市町村長が申立できます。本人の判断能力の状態によって以下に分かれます。

- 補助：判断能力が不十分な方
- 保佐：判断能力が著しく不十分な方
- 後見：ほとんど判断能力のない方

お問い合わせ先

名古屋市成年後見あんしんセンター TEL 052-856-3939 または当院医療福祉相談室へご相談ください。

KURASHINO MAME CHISHIKI

EVENT CALENDAR

2025 2025
1 ▶ 4月

あいちゃん健康倶楽部

事前申し込み不要

無料

辻コミュニティセンター 10:00～

愛生会のスタッフが、辻コミュニティセンターに出張し、介護予防・健康づくりのお手伝いをします!

お話の内容

- 1/21 (火) 血圧について
- 2/18 (火) ウィメンズヘルス
- 3/18 (火) うつ病予防

お話後、簡単な体の体操も実施します。

あいちゃんカフェ

事前申し込み不要

100円

愛生会本部CKビル1階 14:00～

飲み物とお菓子をご用意しております。「認知症カフェ」として、認知症の方やそのご家族向けのサポートはもちろん、地域の誰もが気軽に参加して、おしゃべりやアクティビティを楽しむ場となっています。

お話の内容

- 2/21 (金) 食中毒について
- 4/18 (金) 介護保険制度

後半は楽しいレクリエーションをおこなっています。



Aiseikai Healthcare Corporation

社会医療法人

愛生会

信頼され愛される病院

- 一、私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します。
- 一、私たちは、「地域の救急医療」に貢献します。
- 一、私たちは、「つながり・支え合い」の心を大切にします。
- 一、私たちは、「職員とその家族の健康」を大切にします。



総合上飯田第一病院

- 一般病棟(7対1看護配置)
- 回復期リハビリテーション病棟
- 地域包括ケア病棟
- 訪問リハビリテーション

名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
TEL(052)991-3111



日本医療機能評価機構
認定番号:UC0309号



上飯田リハビリテーション病院

- 回復期リハビリテーション病棟
- 通所リハビリテーション

名古屋市北区上飯田北町3丁目57番地
TEL(052)916-3681



日本医療機能評価機構
認定番号:LL14号



上飯田クリニック

● 人工血液透析
名古屋市北区上飯田北町1丁目76番地
TEL(052)914-3387



ケア複合施設平安通

名古屋市北区東大首根町上一丁目828番地

愛生複合型サービスセンター平安通

TEL(052)908-5011

こもれびの家平安通

TEL(052)908-1355

愛生訪問看護ステーション平安通

TEL(052)908-8550

あいせいケアステーション

TEL(052)991-3152



愛生会看護専門学校

名古屋市北区五反田町110番地の1
TEL(052)901-5101

愛生複合型サービスセンター辻本通

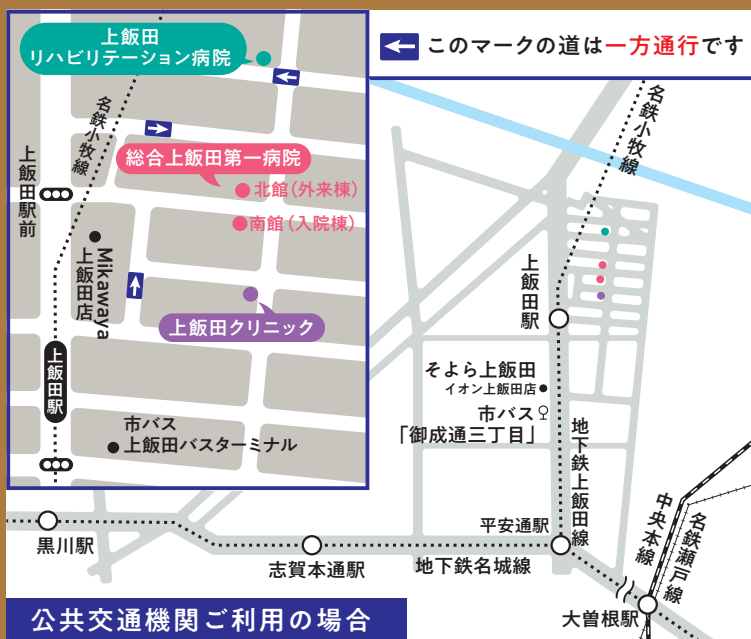
名古屋市北区辻本通2丁目38番地
TEL(052)938-7871

愛生訪問看護ステーション

名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
TEL(052)991-3210

愛生居宅介護支援事業所

名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL(052)991-3546



公共交通機関ご利用の場合

- 地下鉄名城線「平安通」乗り換え→地下鉄上飯田線「上飯田」下車
- 名鉄小牧線「上飯田」下車
- 市バス「上飯田」下車

予約受付中

人間ドック / 各種健康診断

詳しくはホームページをご覧ください
www.kamiida-hp.jp/guide/04/index.html



総合上飯田第一病院 予約専用ダイヤル

電話受付 (052)908-2278
月～金 / 9:00～16:00 (052)908-2279

愛生会本部

名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
TEL(052)914-7071

医療は愛生会 www.aiseikai-hc.or.jp

総合上飯田第一病院のケータイ・スマホ用サイトはこちら▶



私たちは

「つながり・支え合い」の心を大切にします。